

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：吉良食品株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・我が社では経営理念を社内掲示、HP掲載をして、いつでも意識できる環境を作っている。 ・期初に開催される方針説明会において年度の計画や方針、目標を社員に説明することで会社のあるべき姿を従業員と共有している。								8	9											17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守について就業規則に掲載している。 ・経営者より、月次の定期会議などで法令遵守の重要性を従業員に向けて発信している。 ・社員向けに研修を実施し、啓発を行っている。																			16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・経営者より、月次の定期会議などで公正な取引の遵守を従業員に向け発信している。 ・社員向けに研修を実施し、啓発を行っている。												10								16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として取締役本部長を任命している。 ・我が社の事業活動が、社会・環境に及ぼす影響(可能性)を把握している。 ・部署、現場での責任者においても常にリスクを意識し、月次の定期会議や朝礼などで部下への意識付けを図っている。																				16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの知的財産について就業規則に掲載している。 ・経営者より、月次の定期会議などで知的財産保護を従業員に向けて発信している。 ・社員向けに研修を実施し、啓発を行っている。								8.2 8.3	9											16				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報に関しては取り扱う社員を指定し、鍵が掛かる保管庫に保管、情報へのアクセス権を限定している。																				16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様(生産者、取引先、消費者)の声(苦情、相談)を真摯に受け止めるようにしている。 ・品質管理部を設置しお客様相談窓口としている。 ・その声と一緒に働く仲間だけでなく経営層にも届くよう社内のコミュニケーションにも努めている。																			16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8			10			12	13		14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを作成している。 ・地震や水害の経験を踏まえ、事業所構造の見直し、クラウドシステムを導入するなど十分に考慮している。 ・毎年定期的に災害訓練を実施している。											9					11			13.1		16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・経営層は会合やセミナーに積極的に参加し、常に業界情報を収集し、技術革新や事業の拡大など考えている。										8	9											17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2					5					8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則には、差別や各種ハラスメントの禁止について定めており、社内で発生しないよう定期会議や朝礼などでの啓発をはかっている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、管理部に相談窓口を設置している。 ・雇用条件及び職場環境において、雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、差別しないよう取り組んでいる。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8			10.2 10.3									16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生に関しては、改善提案が有れば直ちに対処している。 ・朝礼において、健康面、交通安全、作業中の遵守事項など確認している。 ・アルコール検知器を導入して、運転前、帰社後のチェックを確実に実施している。							3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・法律に則り、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。									5.5							8.5					10.2 10.3			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や有給休暇の取得奨励により、健康増進、家事や育児の時間捻出への環境を整えている。								3			5.5					8.5 8.8					10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職種に応じて必要な外部研修の受講や各種資格の取得を奨励しており、就業時間内での学習、経費支援をしている。 ※大型特殊免許、フォークリフト										4	5.5					8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・社員の健康がなによりも大切と考えており、朝礼時に健康面、交通事故などへの注意喚起、チェックがされている。 ・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう、予約・実施の登録を管理されている。																	8						17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 吉良食品株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格において、人種、年齢、性別などの違いによる差別的待遇はしていない。 ・人材不足の中、高齢者や、女性の活躍が将来重要になると考えて取り組んでいる。 ・定年後の再雇用（現在65歳以上の雇用3名） 働きやすい環境づくりとして、時間有給制度・子どもの看護休暇・短時間勤務制度を導入している。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3						8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、適切に処理している。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・EXCELシートにより自社のエネルギー使用量を把握している。 ・平川倉庫の太陽光パネル/オフィス・工場の省電力型エアコン導入により節電に取り組んでいる。 ・工事現場の照明をLEDを使ったものに入れ替えている。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省の「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握している。 ・社用車を1台エコカーとし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・乾燥野菜の製造においては、「国産100%」を厳守し、九州を中心とした生産者との契約栽培や自社生産を行う原料隊によって、新鮮な野菜を露地栽培しています。美味しい国産野菜の風味や食感をそのまま味わえるように土壌からこだわって作物を育てています。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・事務所で再生用紙やエコ商品の利用を推進している。 ・資材購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入したり、使用後にリサイクルできる包装材、材料に配慮したりしている。 ・廃棄物処理に関しては、リサイクルに力を入れている業者を選定している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・工場では井戸水を使用している。 ・くまもと育水会賛助会員として水資源の保全に関わる活動に参加している。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事務所で使用するコピー用紙や文具などはグリーン購入商品を優先している。 ・資材購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入したり、使用後にリサイクルできる包装材、材料に配慮したりしている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・規格外の野菜を加工用として利用している。			1	2			6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・平川倉庫に太陽光パネルを設置している。 ・余剰電力は売電している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・お客様指定のプラスチック製品を削減した包材を使用することによってプラスチックの使用削減に努めている。														12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 吉良食品株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具否的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・契約農家の畑の品質確認を行っている。 ・入荷時に品質検査を行っている。 ・加工後に乾燥品の品質検査を全ロット実施している。			3.9							9					12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所では、お客様のために分かりやすい表示（駐車場、施設への動線）をしている。 ・工場で働く年配の方にも分かりやすい表示（看板、文字の大きさ）など配慮している。										9.1	10	11.7										17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・原材料の調達において、業界の仲間と情報交換し、可能な限り県産（県内で製造）のものを優先的に利用している。			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7							12.2	13.1		15						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																								
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●																								
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域事業者として、企業連絡協議会への参加、地域の清掃活動や自治会活動に参画している。 ・福祉活動、ボランティア活動としてスポーツ大会への商品協賛や社会福祉協議会への商品無償提供	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所には、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。 ・ハザードマップを踏まえた、災害に対応する保険に加入している。 ・年1回避難訓練を実施している。				4							11.5		13.1							16			
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域事業者として、災害時には建屋・駐車場を避難所として開放するようにしている。	1.5		3	4								10.2	11.5		13.1					16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●																								
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・地元の中学生、高校生、農業大学校の学生のインターンシップを、積極的に受け入れ、仕事の理解につなげている。 ・地域の高校と連携し、出前企業説明会や勉強会を行っている。				4						8.6		10.2										17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生、若者を積極的に雇用するようにしている。 ・県内の大学や高校と連携して、企業説明会を実施している。				4.4						8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15				17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具否的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。